

函館市地域公共交通協議会 令和5年度第5回総会会議録

開催日時	令和6年2月22日（木） 14時00分～14時40分
開催場所	函館市消防本部 5階防災多目的ホール
議 題	<p>(1) 函館バス株式会社における路線バスの減便および路線の廃止について</p> <p>(2) その他</p>
出席者	<p>協議会委員 (計19名) 奥平委員, 中小路委員, 西村委員, 森委員, 渡部委員, 横田委員, 岩橋委員, 今村委員, 高村委員, 佐々木委員, 石崎委員, 酒井委員, 新井田委員, 渡邊委員, 榎本委員, 廣瀬委員, 久保田委員, 巳扇委員 大原委員 (渡島総合振興局地域創生部地域創生課新幹線推進室 主査 津田氏代理出席)</p> <p>報道関係 (計 2社)</p> <p>傍聴者 (計 1名)</p>
欠席者	<p>協議会委員 (計 5名) 大岩委員, 大友委員, 前田委員, 春山委員, 池田委員</p>
事務局の出席者の職氏名	<p>函館市企画部計画推進室交通政策課長 横山 敬一 函館市企画部計画推進室交通政策課主査 渡辺 大輝 函館市企画部計画推進室交通政策課主任主事 沼田 伸之輔</p>

1 開 会 【事務局／渡辺主査】

2 議 題

(1) 函館バス株式会社における路線バスの減便および路線の廃止について

【奥平会長】

- ・ 議題(1)の「(1) 函館バス株式会社における路線バスの減便および路線の廃止について」,資料に基づき,函館バス株式会社から説明をお願いする。

【議題関係者／函館バス株式会社】

- ・ (資料1に基づき説明)

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し,質問・意見等はないか。

【渡辺副会長】

- ・ 説明内容について少し確認したい。
- ・ 59系統の資料を見ると,平日は一日あたり31便が1便へと,相当大きな減便に見えるが,99系統など,他の系統と合わせて必要な便数が確保されるよう,色々と工夫されているように見える。住民の利便性確保しつつ,効率化を図ろうとしているという風に理解した。
- ・ 今後も,効率化を図らなければならない系統が出てくると思うが,これまで以上に色々と工夫しながら進めていただきたい。

【奥平会長】

- ・ 本改正は,旭岡地区のバスの効率化のみならず,南茅部方面へ接続する長距離路線の収支改善にもつながるような改正であり,住民の利便もできるだけ維持しようと,よく考えられた改正だと思っている。

【中小路委員】

- ・ 減便の内容自体は,よく考えられている内容なので,特に問題はないと思っているが,減便理由に掲げられている働き方改革関連法の改正について,本改正が乗務員不足解消にどの程度寄与するものなのかが資料から分かりづらいので,これを掲載してもらおう方が分かりやすいのではないか。

【議題関係者／函館バス株式会社】

- ・ 貴重なご意見に感謝する。
- ・ 当社においても乗務員不足は生じており,今回の改正で全ての乗務員不足

が解消されるとは言い難いが、引き続き乗務員不足解消に努めてまいりたい。

【中小路委員】

- ・ 減便や路線廃止は、どうしても住民等へ不便が生じてくるものなので、減便等をしなければならない理由として乗務員不足があるのであれば、この改正でどの程度それが改善されるのか、などを示してもらうことで、不便を受け入れる側も理解しやすくなる。今後はもう少しその根拠の部分も説明していただきたい。

【奥平会長】

- ・ 他に意見がないようなので、本件について、協議会として承認するということでよろしいか。

<異議なし>

【奥平会長】

- ・ それでは本議案を承認する。

(2) その他

【奥平会長】

- ・ 予定していた議題は以上だが、その他、皆様から何かあるか。

【酒井委員】

- ・ 現在、政府において議論され、令和6年度からの実施に向けて検討が進められているライドシェアに関連して、国土交通省の制度改正に関する資料について説明する。
- ・ (追加配付資料に基づき説明)

【奥平会長】

- ・ 本件について、函館市から何か補足はあるか。

【渡邊副会長】

- ・ 過去の報道では、函館市長が先頭に立ってライドシェアを推進しているかのように誤解されてしまいかねない状況もあったが、先日、(一社)函館地区ハイヤー協会と市長との間で意見交換した内容について、少しお話したい。
- ・ 大前提として、海外のライドシェアがそのまま日本国内に導入されるのは避けるべきだと考えており、タクシーとの共存共栄を図れるような、よく考えられた規制緩和が必要と考えている。
- ・ 先ほどの酒井委員の話にもあったが、交通空白地のような地域にとって、

取り得る選択肢は多い方が良いが、現行の仕組みでは中々難しいという事例が全国的にも多いと聞いており、これの解決に向けた議論の場が必要というのが市長の考えである。

- ・ 現在も、市長自身が首長の会という団体でライドシェアについて勉強を重ねているということもあり、今何かを決めて動くという段階ではないことをご理解いただきたい。
- ・ 行政としても、タクシー運転手の人数が少しずつ回復してきているという情報を踏まえつつ、将来的には運転手の高齢化等で運転手不足問題への解決策は必要となってくると考えており、本市の令和6年度予算案にも運転手不足対策として二種免許取得費補助などを計上しているところであり、先を見据えた時に、本当に困ってから焦ることのないよう、今から手立てをしていきたい。
- ・ いずれにしても、事業者の皆さんや協議会の場で議論をしながら進めていきたいと考えている。

【奥平会長】

- ・ ハイヤー協会の横田委員からは何か意見等はあるか。

【横田委員】

- ・ ライドシェアについて、大泉市長とは既に2回話をしている。
- ・ 函館でタクシーを利用しづらくなるのは、週末の夜や大きなイベントの日、クルーズ客船が入った日などに限定されており、まだライドシェアが必要と言うには早いのではないかと考えている。
- ・ 市長からは、旧4町村の交通に何らかの対策が必要と考えていることから、タクシー業界へも協力いただきたいということと、ライドシェアについても、関係官庁や地域公共交通協議会、業界団体と話をしながら進めていきたいという趣旨の話があった。

【奥平会長】

- ・ 今後、ライドシェアの制度を利用していくようなことになれば、当協議会としても議論していかなければならないことから、今後も情報共有について、宜しくお願ひしたい。

【奥平会長】

- ・ その他、事務局から何かあるか。

【事務局／横山課長】

- ・ 委員の皆様へは先にお送りしているが、昨年度より当協議会でご議論いただき、函館市に素案を提出いたしました「函館市地域公共交通計画」について、令和6年1月に函館市において策定されたことをご報告する。今後、当

協議会としても施策の推進に協力してまいりたいので、委員の皆様にもご協力をお願いしたい。

- ・ 2月7日に発表された函館市令和6年度予算案において、西部地区におけるA I デマンド交通実証運行が掲載されており、今後、市議会においてこの予算案が承認された場合においては、当協議会において委員の皆様と協力しながら実施していくこととなるので、宜しくお願い申し上げます。本件については、次の総会において事業計画および予算案とともにお諮りしたい。
- ・ 次回総会については、3月に開催を予定しており、日程が近付いたら改めてご案内する。場合によっては書面開催もあり得る。

【奥平会長】

- ・ 他になければ、これで予定した議事をすべて終了したので、進行を事務局にお渡しする。

3 閉 会 【事務局／渡辺主査】